

横野山王原遺跡現地見学会 2018年12月1日（土）実施

今回の見学会では、8区の近世宝永火山灰廃棄土坑や中世の道状遺構を解説し、縄文時代第1面（縄文時代後期～中期）の発掘作業をご覧頂きました。また、5区では、縄文時代早期の集石遺構や住居状の掘り込み跡などとともに発掘作業の様子を見学頂きました。また、これまでに出土した主な遺物を展示しました。さらに、横野山王原遺跡と関わりの深い富士山の火山灰について理解を深めて頂くために、ミニ講座『秦野市横野山王原遺跡の宝永火山灰の復旧について』を実施いたしました。その他、実際に宝永火山灰に触れて頂くコーナーとして、宝永火山灰廃棄土坑の発掘体験も行いました。

当日は天気にも恵まれ、137名の方々にご参加いただきました。



8区写真パネルの説明



8区近世面の現場見学



5区縄文面の現場見学



ミニ講座

参加者の声

- ◆貴重な機会をありがとうございます。
- ◆範囲が広い。地層が見られてよかった（スベリがすごい）。作業風景もよかった。
- ◆とてもわかりやすく、構成が練られていると思った。

2年前に来た時より、工夫がされていました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。